

## ABEST21 eNEWS April 2010

### ABEST21 理事長報告

- ・ 3月04日、専門審査委員会（Pre-Accreditation Committee）に出席
- ・ 3月05日、認証評価委員会（Accreditation Committee）に出席
- ・ 3月05日、ABEST21 理事会の開催
- ・ 3月05日、新日本製鐵君津製鐵所の見学
- ・ 3月06日、国際シンポジウムに出席
- ・ 3月08日、文部科学省に認証評価審査結果の説明
- ・ 3月23日、第5回「マネジメント人材育成協議会」に出席
- ・ 3月26日、文部科学省記者クラブで記者発表

### ABEST21 認証評価ニュース

#### ・ 専門審査委員会の開催

2010年3月4日（木）、アイビー・ホールで専門審査委員会が開催された。まず、「認証評価審査結果（案）」に対する受審校の意見申立について、申立意見調整委員会委員長より調整の経緯と調整結果について報告がなされこれを了承した。また、マレーシアのマネジメント科学大学(MSU)のMBAプログラムの「認証評価計画」について、マネジメント科学大学のピアレビュー・チームの委員より審査結果の報告がなされ、これを承認した。

#### ・ 認証評価委員会の開催

2010年3月5日（金）、新日本製鐵君津製鐵所の会議室で認証評価委員会が開催された。認証評価委員会は、専門審査委員会堀内正博委員長より、京都大学大学院経営管理教育部経営管理専攻（専門職大学院）、南山大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻（専門職大学院）及びマレーシアのマネジメント科学大学(MSU)のMBAプログラムの、それぞれの「認証評価計画」に対する専門審査委員会の審査結果の報告を承認した。次に、関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻（専門職大学院）の認証評価の認定について、専門審査委員会の「認証評価審査結果（案）」について報告を受け、種々意見交換の後、これを承認した。



#### ・ 2009年度認証評価証の授与

2010年3月5日（金）、新日本製鐵君津製鐵所で開催された認証評価委員会の答申を受けて、ABEST21 理事会において関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻（専門職大学院）の認証評価を認定を承認し、認証評価証が認証評価委員会委員長であるカルフォルニア大学サンディエゴ校のRady School of ManagementのDean Robert S. Sullivanより関西学院大学に授与された。引き続き、同会場において祝賀会が開かれ、モスクワ大学ビジネススクールのDean Oleg



Vikhansky の司会のもとに開催された。

## ABEST21 ニュース

### ・国際シンポジウムの後援

2010年3月6日(土)、“グローバル化社会におけるマネジメント教育の展望 “についての国際シンポジウムが青山学院大学総研ビル第12階国際会議場で開催された。まず、第1セッションとして、文部科学省高等教育局大学振興課課長藤原章夫氏による「わが国の高等教育におけるマネジメント人材育成の施策について」とトヨタ自動車株式会社トヨタインスティテュート部長吉村一孝氏の「トヨタのマネジメント人材育成」の基調講演がなされた。第2セッションでは、Dean Gugus Irianto(University of Brawijaya, Indonesia), Assistant Professor Shuang Han (Northeastern University, China) そしてリスク解析戦略研究長椿広計氏(システム研究機構統計数理研究所)から、それぞれマネジメント人材の力量調査の結果について報告がなされた。第3セッションでは、一橋大学名誉教授野中郁次郎氏による「実践知リーダーの育成」とインドネシア大学学長 Gumilar Rusliwa Somantori 氏と株式会社東芝取締役執行専務谷川和生氏とによるグローバル化時代における人材育成対談がなされた。いずれの講演においても現実を解決していく人材育成の体系化に言及された示唆に富む内容であった。



### ・新日本製鐵君津製鉄所の見学

2010年3月5日(金)、新日本製鐵君津製鉄所の工場見学がABEST21 認証評価委員会委員で新日鐵エンジニアリング株式会社社長羽矢惇氏のご厚意により実現した。君津製鉄所は1965(昭和40)年に創業し、年間粗鋼生産1,000万トン規模を誇る世界最大規模の製鉄所として知られている。特に、完全自動化の厚板熱間圧延を目にしてのそのダイナミックさに圧倒され、一方、一般家庭から排出された容器包装プラスチックを既存設備であるコークス炉を活用しての100%再資源化のきめ細かさに感激していた。



### ・新会員の紹介

#### 1)Affiliate Membership

この度、「日本弁理士会」(Japan Patent Attorneys Association)が ABEST21 の Affiliate Membership として、2010年3月5日(金)開催の ABEST21 理事会において承認された。日本弁理士会は弁理士法に基づいて1922(大正11)年5月に設立された弁理士に関する唯一の法人である。弁理士になるためには、弁理士の国家試験に合格し、日本弁理士会に登録されなければならない。従って、すべての弁理士は日本弁理士会の会員となる。特に、弁理士は「特許権」、「実用新案権」、「意匠権」そして「商標権」からなる「産業財産権」の権利化と権利保護等に係る業務を担うために、ABEST21 のマネジメント教育の質維向上を図ることと密接不可分の関係にあることから、

日本弁理士会が入会された。

## **2) Individual Membership**

Dr. Mohd Ismail bin Sayyed Ahmad の個人会員の入会が、2010 年 3 月 5 日（金）開催の ABEST21 理事会において承認された。Dr. Ismail 氏は、現在、International Islamic University Malaysia の Management Centre の Director であり Professor である。Dr. Ismail 氏は、ABEST21 の正会員であったマレーシアの Faculty of Management-Multimedia University (Malaysia) の Dean をされ、われわれとは ABEST21 の創設以来の関係であった。その後、Multimedia University を退職され ABEST21 との関係も一時中断したが、International Islamic University Malaysia の Management Centre の Director の就任に伴い、先ず、個人会員として ABEST21 に復帰したいということで入会された。

### **・新役員の紹介**

2010 年 3 月 5 日（金）開催の ABEST21 理事会において、2010 年 6 月 30 日で任期満了に伴う次期 ABEST21 会長、副会長、理事及び監事の改選が審議された。先ず、ABEST21 Bylaw により会長指名委員会が組織され、会長指名委員会より現会長を引き続き会長に指名したい旨の提案がなされ、承認された。任期は 2010 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日までの 3 年間。会長より会長委嘱人事として副会長、理事及び監事の留任が提案され、これを承認した。また、新理事としてインドネシア大学経済学部長の Firmanzah, Ph.D.の就任が承認された。

## **「マネジメント人材育成協議会」ニュース**

=====

### **・「マネジメント人材育成協議会」の第 5 回会議の開催**

2010 年 3 月 23 日（火）、アイビー・ホールで第 5 回「マネジメント人材育成協議会」が開催された。今回は、全 4 回の会議結果を踏まえた活動報告書「ビジネススクールの充実発展のために」について審議した。特に、第 5 章における「マネジメント人材育成に関する提言」において、活発な意見交換がなされ、マネジメント人材育成とビジネススクールの教材開発機会の確保との関係について相互利用による人材育成の必要性が議論された。

以上